

可愛くてポップな世界に一つのオリジナル銘仙つくります

「るりばら銘仙プロジェクト」12月20日(金)スタート

『大正ロマン+昭和モダン+令和』版のオモシロ現代銘仙を作成・販売



【KAWAII】



【ユニセックス】



【トラディショナル】

1.【これまでの経緯について】

埼玉県秩父市にある「るりばら銘仙－高橋ミート店－」は、かつて肉屋として使用されていた築50年の建物をリノベーションし、2023年3月に捺染加工業の工房兼店舗として新たにオープンした施設です。この店舗は、秩父銘仙の魅力を次世代に伝えることを目的とした染物店として運営されています。主な事業内容として伝統的な銘仙の製作や、その技術を活用した染物の制作・販売を行っております。また、来訪者が実際に染物を体験できるワークショップも開催しており、地域の文化継承と観光促進の一翼を担っております。

この度は、可愛くてポップなオリジナル銘仙つくる事業として、「るりばら銘仙プロジェクト」を立ち上げます。このプロジェクトは従来の上品な着物のイメージを変えるような『大正ロマンと昭和モダン+令和』の面白柄の現代銘仙をつくります。このプロジェクトを通じ着物に馴染みのない若い世代の方にも銘仙に興味を持って頂く事ができれば幸いです。

1.【商品説明】

埼玉県秩父市で令和 4 年から「るりばら銘仙/高橋ミート店」を経営している(代表:矢野 倫代 やの みちよ)と申します。秩父銘仙は、大正から昭和初期にかけて鮮やかな色使いや大胆な柄で女学生を中心に愛された伝統工芸品です。しかし、時代の流れとともに需要が減少し、着物文化自体も廃れてきました。そこで、私は秩父銘仙の伝統技術を継承し、現代のエレガントやモダンなものに加え銘仙の持つレトロでポップな魅力を活かしつつ、さらに、今見ても面白いと思うコンセプトとデザインにリバーサル(生まれ変わらせる)していきたいと考えております。

2.【顧客ターゲット】「全国の着物ユーザ 20～80 代の現代銘仙に興味のある方」

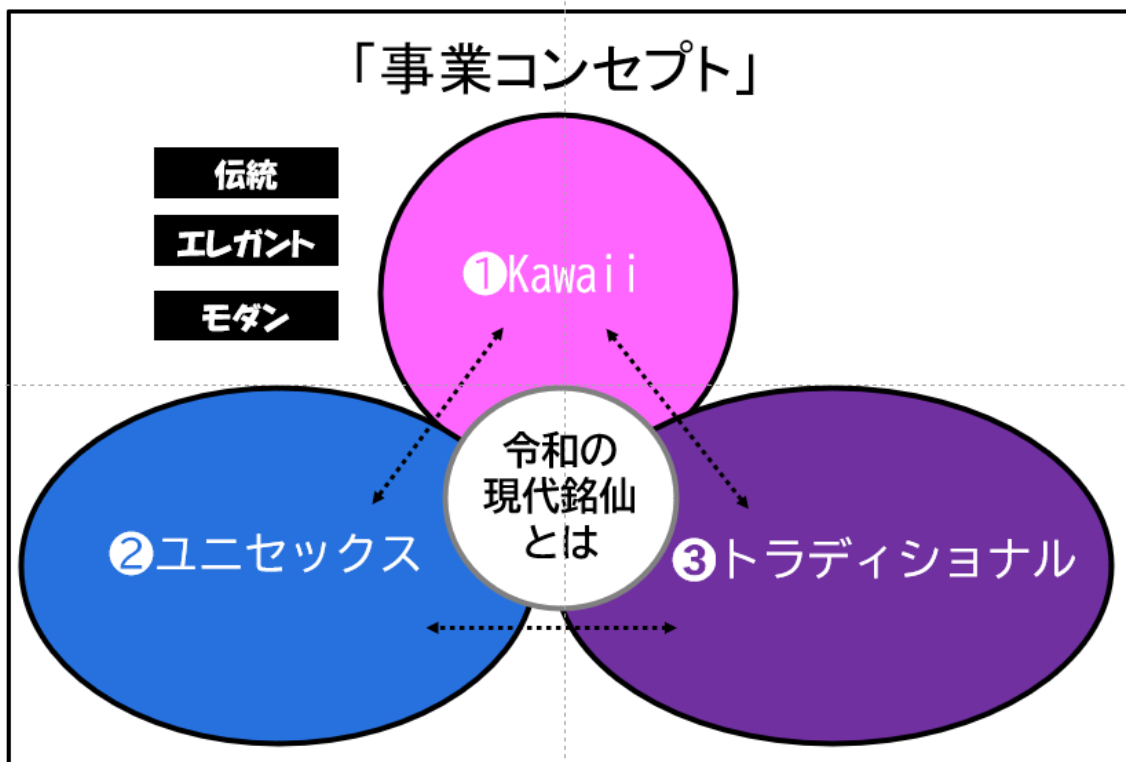
3.【コンセプト】「面白い」×「商品」

詳細⇒従来の上品な着物のイメージを変えるような『大正ロマンと昭和モダン+令和』の面白い銘仙を作成・販売します

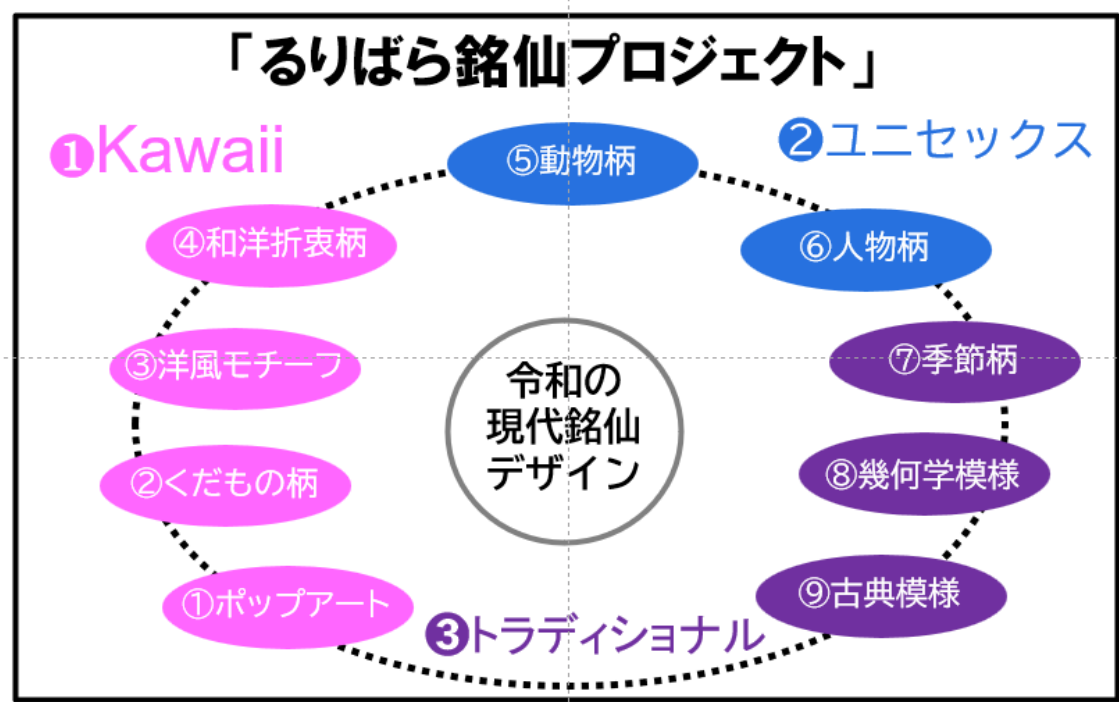
銘仙の定義は①平織②先染め③絹であることとされており絹 100%になります

4.【リリースのポイント3つ】

①事業コンセプト

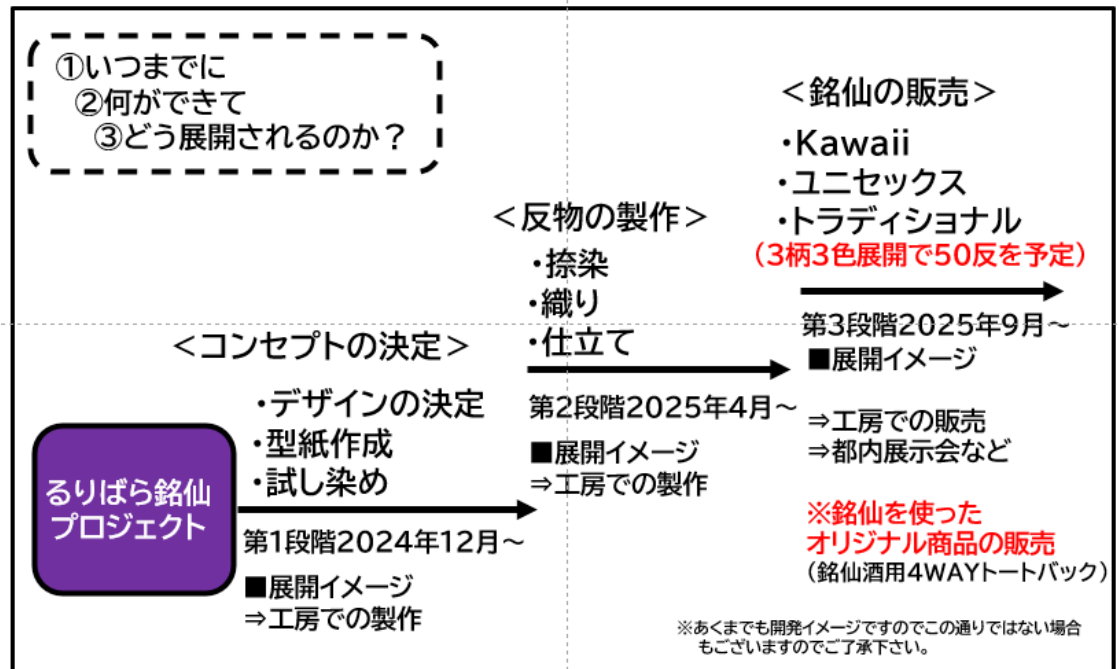


②デザイン



③事業の展開

■プロジェクトMAP(今後の予定)



<以下、参考資料>



■代表者 矢野倫代(やのみちよ)

前職で雑誌やウェブのデザイナー、IT 企業でエンジニアとして勤務する傍ら、「昔から好きだった着物に携わりたい」との思いで着物店の手伝いを始めました。2019 年 12 月より「秩父市地域おこし協力隊」として着任し3年間活動した後、秩父市内に工房兼店舗を開業いたしました。

■プロジェクト概要

名称	「るりばら銘仙プロジェクト」
内容	『大正ロマン+昭和モダン+令和』版のオモシロ現代銘仙を作成・販売
開始日	令和6年12月20日(金)
販売先	令和7年9月以降～秩父市店舗、都内展示会(予定)
参考価格	1 反 ¥ 250,000 (税込)

<資料に関してのお問合せ先>

るりばら銘仙 -高橋ミート店-

電話:090-1256-7446

E-Mail: rulibarameisen@gmail.com

HP アドレス ruribara.jimdofree.com

住所 〒368-0042 埼玉県秩父市東町 11-13 高橋ビル